時事新報定價
時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月曜休刊
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢の郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料（前金）

	一日以上	六日迄	七日以上
一行平均廿字詰	一日限		
一行　〃　付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社（寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社にあるものありて曩より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を掲ぐるあと寡からず偶ま時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

國民協會

國民協會と名づくる一種の團體の組織に就ては西郷品川の二氏は愈よ辭職して之に從事するよし其決心は甚だ佳なれども寧ろ一歩を進めて其旗幟をも鮮し公然政黨の首領として議院に出席するの覺悟もあらば更に妙なる可し其覺悟は兎も角もとして扨今の政海の風習を見るに政治上に温和の意見を抱き政府の政案に就ても甚しき反對を試みざるものは忽ち吏黨又は御味方などの名を附して何となく之を輕蔑するの意味あるが如し蓋し其中には輕蔑を價する輕薄兒もなきに非ざる可しと雖も實際に温和の主義を是として獨立するものが謂れもなく冷評せらるゝは決して政海の美事に非ず畢竟その人々が三々五々統一するを得ずして恰も身を寄するの場所なきが爲めに端なく反對黨に犯されて自家の本色を傷けらるゝ次第なれば其人々が一致團結して他の反對に當り其本色を全ふせんとするは止むを得ざるの處置なりと云ふ可し若しも今回の計畫にして右の精神に出でたるものならんには我輩は政海目下の必要として其擧を賛成せざるを得ず如何となれば黨派の競爭は立憲政治に止むを得ざるものにして既に一方に過激の主義を主張する反對の黨派ある以上は温和着實の人々が一致團結して之と對立するは政治上自然の結果に外ならざれば寧ろ或は其首領として所謂藩閥の老政客を戴くは甚だ不都合なり政黨たるの本色に於て如何ある可きやなどの邪推もなきに非ざる可けれども目下の事情に於ては是れ亦止むを得ざるの必要なる可し本來團結の目的は同主義に在り眼中他を見ず唯主義を以て相會するみとなれども其相會するの方便として老政客の地位名望を利するは今日の流行にして強ち咎む可らず即ち彼の民黨と稱する自由黨改進黨の如きも其一例にして實際の事情に必要ありとすれば獨り今回の團結に於て之を怪しむの理由はある可らず左れば我輩は其團結に就ては毫も異議なきのみならず寧ろ賛成を表するものなれども唯ゝ一に注意す可きは現政府と同會との關係にして政府の當局者なり同會の發企人なり今日より其成行を推算して豫め覺悟するに非ざれば後日に至りて雙方共に失望の場合なきを期す可らず同會の精神は今の民黨の過激論に反對するものなれば此一點に於ては現政府と利害を同ふするに相違なく又實際に於ても或は政府を助けて大に運動するの覺悟なるやも知る可らずと雖も是れは一時行掛りの内情にして永久に恃む可きものに非ず我輩の所見を以てすれば若しも其運動にして終始政府の方向と一致し恰も官邊の鼻息を仰て進退するが如きものならんには其勢力は甚だ微弱にして迎も反對の黨派に當るに足らず即ち今の吏黨もしくは御味方黨の名を付せられて暗々の間に周旋するものと異なるみとなく斯くては一種の團結としても世に立つの甲斐もなかる可し或は會の運動果して其目的に違はず實際に働を逞ふして政治上に勢力を占むるに至らんか其曉に至り政府との關係は如何なる可きやと云ふに終始方向を共にして相戻らざるが如きは迎も覺束なく歳月の間には多少の衝突を免れざるのみか遂には第二の民黨と爲りて政府に反對するか然らざれば會の首領たるものが自から進んで事に當るの外はある可らず數の最も睹易き所にして苟も政治の經驗あるものならんには此成行を疑はざる可し思ふに現政府の當局者及び同會の發企者に於ては果して此邊の見解ありや否や最初より其然るを期しての企なりとあれば夫まで事なれども若しも當局者は會の發企を以て已れの味方を得たるものとして陰に之に依頼する所あり又その發企人も一致團結の力を以て外より政府を助くなどの下心あるに於ては我輩は後日に至り双方共に必ず失望の時ある可しと聊か爰に豫言を試る者なり

官報

○第二豫備金支出

明治二十五年度第二豫備金支出

第四回

一金六百九十七圓八十錢　獄疫豫防費

嚴手縣下ニ於テ獄疫流行ニ付之カ豫防費ヲ要シ本行ノ金額第二豫備金ヨリ支出ノ儀内務大臣ヨリ請求有之本大臣同意ヲ表シ之ヲ上奏シ本月一日勅裁ヲ得タリ

一金百八十一圓五十六錢五厘　屯田歩兵隊家屋其他燒失品再給費

北海道札幌郡篠路村屯田歩兵ノ家屋及物品火災ニ罹リタルニ付之カ再給ヲ要シ其費用トシテ本行ノ金額第二豫備金ヨリ支出ノ儀陸軍大臣ヨリ請求有之本大臣同意ヲ表シ之ヲ上奏シ本月一日勅裁ヲ得タリ

明治二十五年七月五日

大藏大臣伯爵松方正義

雜報

○鐵道軌間の廣狹に關する問題　凡そ鐵道を布設するに當て軌間廣狹の利害得失は苟も鐵道事業に注意する人々の研究を怠らざる所なるが近頃我國にては現時の軌間を改築して英米兩國に行はるゝ普通のものと同一ならしむべしと主張する論者も少からず横濱メール新聞は去る二十九日の社説欄内に於て此問題に關する所見を開陳したり其所論中鐵道論者の參考となるべきものあれば左に記載して讀者の一覽に供す

我輩の見る所に據れば軌間の廣狹問題は今日の一問題なる鐵道擴張の大計畫を謀聯して再び世人の注意を惹起さんとす抑も當局官吏は最初外國技術家の助言に從ひて狹軌間を撰擇したるみと固より言を待たざれ共之を採用したる爲に批評を受けたり鐵道論者の中には今日の標準を更めて英米兩國に行はるゝ普通の軌間を採用すべしと勸告する者多し是等論者の意見を聞く者は四呎八吋半の軌間みを眞に特種の實効を有し諸種の軌間中最も撰擇採用の價値あるものなるべしと想像するに於ても或は政府を助けて大に運動するの覺悟なるやも知る可らずと雖も是れは一時行掛りの内情にして永久に恃む可きものに非ず我輩の所見を以てすれば若しも其運動にして終始政府の方向と一致し恰も官邊の鼻息を仰て進退するが如きものならんには其勢力は甚だ微弱にして迎も反對の黨派に當るに足らず即ち今の吏黨もしくは御味方黨の名を付せられて暗々の間に周旋するものと異なるみとなく斯くては一種の團結としても世に立つの甲斐もなかる可し或は會の運動果して其目的に違はず實際に働を逞ふして政治上に勢力を占むるに至らんか其曉に至り政府との關係は如何なる可きやと云ふに終始方向を共にして相戻らざるが如きは迎も覺束なく歳月の間には多少の衝突を免れざるのみか遂には第二の民黨と爲りて政府に反對するか然らざれば會の首領たるものが自から進んで事に當るの外はある可らず數の最も睹易き所にして苟も政治の經驗あるものならんには此成行を疑はざる可し思ふに現政府の當局者及び同會の發企者に於ては果して此邊の見解ありや否や最初より其然るを期しての企なりとあれば夫まで事なれども若しも當局者は會の發企を以て已れの味方を得たるものとして陰に之に依頼する所あり又その發企人も一致團結の力を以て外より政府を助くなどの下心あるに於ては我輩は後日に至り双方共に必ず失望の時ある可しと聊か爰に豫言を試る者なり

るならんと雖も元來此幅員を見るに至りし由來沿革を考究すれば斯る感念を脱却するに相違なしヨヨーシステフエンソン氏が始めてノルザムバーランドのベドリントン鐵工所に鐵道を敷設せし時其軌間をして英國の北方地方に於ける荷車の兩車輪の幅と同じく四呎六吋となす見込なりしも然る時は必要なる器械を機關車に裝置するの困難なる事を發見しければ之に二吋半を增して四呎八吋半となしたり是ぞ即ち現今世間にて大に貴重せらるゝ軌間なり世人はノース　ウエスターン鐵道に於けるステフエンソン氏の軌間（四呎八吋半）とグレート　ウエスターン鐵道に於けるブルユーチール氏の軌間（七呎）との間に生じたる歴史上の競爭を記憶すべし雙方の差違は實に甚しくして殆んど五割なりと雖も該競爭は五十年間も連續しグレート　ウエスターン鐵道が遂に七呎なる廣軌間の大不便を感じて四呎八吋半に更め了りたるは去る五月二十日の事なりき右の競爭に依りて特種の廣軌間を可とするの理論は全く論據を失（り愛闘にてはブルユーチール軌間とステフエンソン軌間との折中とも云ふべき五呎三吋の軌間を採用し印度にては二十年前、五呎六吋（印度にて始めて採用したる軌間）とメートル軌間（凡そ三呎三吋）との間に競爭を生じたり但し印度の鐵道に就ては特に注意せざる可らざる事あり何となれば政府は其保證したる鐵道會社をして最も收益多き總ての地方を獨占せしめ政府自から進んで收益の見込少なき地方の敷設工事に着手せざるを得ざるに至りたれば自然の勢、大に費用の點に注意したればなり千八百八十九年（明治二十二年）印度鐵道の總哩程一萬三千五百哩の内、五千哩はメートル軌間なりき我輩は印度の經驗に依て日本の參考となるべき材料を得たり即ち最初メートル軌間を採用して敷設したる印度鐵道線路若干は其後五呎六吋の軌間に改築したりしが其工費一哩に付二千七百磅を要したるより考れば日本の三呎六吋の軌間一千七百哩を改築せんとするには大約二千五百萬圓の費用を要するならん又印度に於ける問題は七割の變更（三呎三吋を五呎六吋に改む）なりしも日本にては三割四分（三呎六吋を四呎八吋半に改む）に過ぎざるならん蓋し二十年前日本が四呎八吋半の軌間を採用せしならば今日の三呎六吋よりも一層得策なりしならんみを疑を容れず之が爲に列車の進行をして一層肅然たらしめ且つ車輛の如きも普通の法式に合ふが爲に一層容易く手に入るゝを得たるならん外觀上より云はゝ日本の三呎六吋軌間は殖民地の經驗に富む人々の助言に從ひ撰擇したるものの如し是等の人々は日本の三呎六吋軌間は新西蘭の軌間の如く（新西蘭にて同軌間の線路凡そ一千四百哩は既に使用中ありき）又濠州クヰーンスランド、南亞米利加及其他諸國に於ける如く別派を爲すべしと考察せしならんと雖も此幅員は實にメートル軌間に近似し日本の軌間はメートル軌間の部に類別せらるゝ程なり併しながら日本にては改築を施すべきの時期既に經過し去れり今日若し之を實行せんと欲せば車輛の全體を改造し停車場を變更し幾多の大小橋梁を改築し隧道を再開し其他種々の工事を施さゝる可らず其費用莫大にして容易に實行し難し一任之を實行するも工事中の不便は頗る大なるのみか一方に於ては之が爲に利益する所極めて輕少なるべし又我輩は車の廣さを增す事に付議論する者多きを聞くと雖も此論は乘客運輸業に適用し難し廣さの欠乏は長さの增加を以て償なふを得べけれども其運動にして終始政府の方向と一致し恰も官邊の鼻息を仰て進退するが如きものならんには其勢力は甚だ微弱にして迎も反對の黨派に當るに足らず即ち今の吏黨もしくは御味方黨の名を付せられて暗々の間に周旋するものと異なるみとなく斯くては一種の團結としても世に立つの甲斐もなかる可し或は會の運動果して其目的に違はず實際に働を逞ふして政治上に勢力を占むるに至らんか其曉に至り政府との關係は如何なる可きやと云ふに終始方向を共にして相戻らざるが如きは迎も覺束なく歳月の間には多少の衝突を免れざるのみか遂には第二の民黨と爲りて政府に反對するか然らざれば會の首領たるものが自から進んで事に當るの外はある可らず數の最も睹易き所にして苟も政治の經驗あるものならんには此成行を疑はざる可し思ふに現政府の當局者及び同會の發企者に於ては果して此邊の見解ありや否や最初より其然るを期しての企なりとあれば夫まで事なれども若しも當局者は會の發企を以て已れの味方を得たるものとして陰に之に依頼する所あり又その發企人も一致團結の力を以て外より政府を助くなどの下心あるに於ては我輩は後日に至り双方共に必ず失望の時ある可しと聊か爰に豫言を試る者なり

ばなり而して日鐵道廳の報告に客車收入は總收入の趣を異にし故に米國の如く客車收入は貨車收入の半に過ぎざる事を思へば必ず要するに公衆の利益を目的とするに公衆の利益を目的とするに公衆の利益を目的とする